

第 6 期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

協議テーマ	地域生活支援拠点に求められる機能と小金井市内の現状及び課題について
開催回・開催日	専門部会 平成30年7月17日（火）
記録担当委員名	増田 敏子
<p>【協議概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援拠点等に求められる5つの機能内容と小金井市内の現状について確認する。 <p>【課題となった事項の整理】【課題解決に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5つの機能、全てが整わないと東京都に報告できないのか、整わなくても報告する事ができるのか。 <p>→全体会で確認し修正したものを東京都に報告する事になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小金井市は拠点型にするのか面的整備をするのか。 <p>→障害者センターでは、身体・知的障害の対応は出来ると思うが、精神の対応は難しい、拠点型なら新しい福祉会館でワンストップの相談窓口にする考えもあるが面的整備が現実的かもしれない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなネットワーク（高齢・障害・子育て・地域住民）が出来ている、一本化する事が出来ないの検討する必要があるが、組織が違うので難しいかもしれない。 <p>■コーディネータについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネータの役割について、コーディネータは何をするのか、どんな人が必要なのか。 <p>→コーディネータは3障害別に専門性を持った人が必要、コーディネータが中心になり橋渡しをして行く。既存の資源を利用しながら、組織の中で決めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援内容は、本人を含めた関係者の合議で決めて行く。当事者抜きでは決めていけないようにする必要がある。 ・地域体制作りのコーディネータは小金井市で考えて貰う様にする。 ・障害者が地域で生活して行けるようにできるとよい。 <p>■24時間対応のコールセンター事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が求めている内容と他市でどの様に行っているか確認する必要がある。 ・障害者自身が、しっかりと姿勢を持つ必要がある。与えるだけでなく教育を受ける場も必要。 ・コールセンターなのでつなげる先、機関を考えて置かなければならない。 ・どんな相談内容を受けるようにするのか決めておく必要がある。 ・その人の気持ちを変えるより、寄り添いながら対応する必要がある。 ・全体的なコールセンターではなく、必要な人に電話番号を伝えて行く方法もある <p>【次回の協議内容予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小金井市においての地域生活支援拠点の5つの必要機能の整理と不足資源の確認 ・年度計画で考え、平成31年2月までに全体会に提出できるようにする。 <p>【次回の開催日程】</p> <p>平成30年8月29日（水）17時から 全体会 801 会議室</p>	